

【八月の言葉（令和五年）】

いのち終えて、

また、お浄土で会えたらいいですね。

往生と言うと、世間では「立往生」とか「往生した（難儀し）」とか“困ったこと”というような意味で使われたりしてありますが、本来はお浄土に「往ゆき生まれる」ということで仏の世界に生まれることです。往生は「人間界」から「仏の世界」へ誕生することであり、めでたい言葉なのです。仏法を喜んでおられる方のお葬式に行くと「ご往生おめでとうございます」という言葉を聞きます。

私たちは、不思議なご縁で人間界に生まれました。いのち終えるとどこに行くのでしょうか？いのちの行き先がなければ、永遠に迷いの世界を彷徨さまようことになります。阿弥陀如来は「浄土に生まれてほしい。必ず救う」とお念仏となり、呼び続けてくださっています。その呼び声をしっかりと受けとめていきましよう。

いのち終えて、お浄土でまた親しき人と会えたらいいですね。